

令和7年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

研修名	障がいのあるお子さんを養育されている保護者の「語り」からの学び（※反復開講）				
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	プログラム指標 （しまだい）	子ども支援		
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）	
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）	
	充実・円熟期（20～30年目）	○		発展（大学院レベル）	
開設日	令和7年10月9日（木）午後	時間数	3時間	受講定員	20名
会場	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設）	所在地	島根県松江市大輪町416-4		
授業形態	講義・ワークショップ	対象校種	全校種		
		対象教科	全教科		
実施方法	対面（集合型）	対象職種	教諭、養護教諭、 その他（広く学校教育関係者）		
担当講師	はら ひろじ 原 広 治（島根大学教職大学院 特任教授）、保護者				
研修内容	園や学校において、保護者と連携して子どもを育てていくことは重要かつ不可欠であることは誰もが理解しています。しかし、実際の「連携」は容易ではなく、「〇〇すればいい」といった正解があるわけでもありません。そこで本研修では、特別な支援を必要とするお子さんを育てるある一人の保護者を招き、子育てのこれまでと今、そして未来を語っていただくことを通して、園や学校での関わりを吟味、考察します。その上で、園や学校とすれば、何を大切に、どんなことを、どのように行えばよいのかについて検討します。				
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時 間	内 容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	13:10～13:30	受付			
	13:30～13:40	オリエンテーション			
	13:40～15:00	講義：私の子育て			
	15:00～16:30	講義-演習-協議：保護者の「語り」から考える教師のかかわり			
	16:30～16:45	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時			
研修に関して各自準備するもの	・特になし				
事前課題	・特になし				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 ・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 hara-hiroji@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。 <p>※本講座は、8月5日（火）鳥取県教育センターで実施する講座と同じ内容です。</p>				